

子どもと保育
実践研究会
2022年度

夏季全国大会

文部科学省の中央教育審議会で始まった、幼児教育と小学校教育の架け橋プログラムが、いよいよ本格的にスタートします。この事業が、これからの保育・教育を考えていく上で、とても大きな転換点になる可能性を秘めているのは確かです。豊かな環境の中で、一人ひとりの子どもの興味や関心を受け止め子どもの主体性を大事にする乳幼児期の保育・教育の考え方が、小学校以上の教育に広げていく動きを、国や地方自治体が推進しようとしているからです。

そこで、この夏季全国大会では、オンラインにはなりますが、前半では、幼児教育から小学校教育へとつながる子ども達の「探求する姿」を、園環境を変えながら実践してきた保育園の試みを紹介します。その上で、後半では、上智大学の奈須正裕先生をお招きして、小学校教育がどのように変わろうとしているのかについて、佐伯胖先生との対談も含めお話を伺いたいと思います。

ぜひ多くの皆様の参加をお待ちしています。そして、参加された方々が、今後、各地域で、小学校の先生方を交えた架け橋プログラムの議論を活発にリードされていくことを願っています。

プログラム

12:50 開会挨拶

実践提案

「自然環境を活かした保育実践の取組

—園庭ののっばら作りプロジェクトの実践から—

12:55

実践提案 宮城正昇・白石朋子・兼行絢子
(世田谷区立希望丘保育園)

14:10

コーディネーター 大豆生田啓友 (玉川大学)
三谷大紀 (関東学院大学)

(7月17日に行う国際校庭園庭連合日本支部のセミナーでは、別角度から希望丘保育園の実践を取り上げます。オンライン参加も可能です。ぜひご参加ください。)

休憩

講演

14:25 「架け橋期から教育を再考する」

講演 奈須正裕 (上智大学)

16:00

鼎談 奈須正裕 (上智大学)

佐伯胖 (信濃教育会教育研究所)

渡邊英則 (港北幼稚園・ゆうゆうのもり保育園)

16:00

総会

~16:10

講演中、Zoom ウェビナーの Q&A により質問を受け付けます。全てのご質問にお答えできない場合がございますのでご了承ください。

日時

2022年 8月 11日 (木・祝)

12:50 ~ 16:10 (12:30 受付開始)

参加費

会員 ￥1,500

一般(非会員) ￥4,000

学生 ￥1,000

定員

500名(先着順)

開催方法

オンライン
(Zoom ウェビナー)

申し込み方法

個人で申込される方



<https://kodomotohoiku2022summer.peatix.com/>

団体会員の方及び
会員で複数名申込される方



<https://kodomotohoiku2022summer-group.peatix.com/>

申込期限 8月8日(月) 13:00

※参加申込の際、2022年度年会費をお支払いいただいた場合、会員参加費でお申込みいただけます。

<会員年会費>個人 ￥3,000 団体 ￥30,000

※ご入金後キャンセルの場合は返金できません。

※上記申込サイトでお申込みできない場合は、メールでご連絡ください。

※申し込み・入金された方にはアクセス先をメールにてご連絡いたします。

事前接続確認: 8月11日(木・祝) 12:00 ~ 12:30

※必ず事前の接続確認及びチャット入力確認を行ってください。

当日セミナー開始時刻(12:30)以降の接続に関する問い合わせ、主催者都合ではない視聴不可に関する返金については、お受けできませんので予めご了承ください。

お問い合わせ 子どもと保育総合研究所事務局 Email: edu@kir.jp TEL & FAX: 045-534-0530